

広報 たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②1111 [代表]

人口

— 9月30日現在 —

9,612人 男…4,672人 女…4,940人
 世帯数……………2,611
 転入 37 出生 10
 転出 28 死亡 7



第231号 昭和53年

クリの実の収穫はとつとつに過ぎ、季節外れの感じがするが、雑草の中に拾い取ったクリ一粒。虫喰いのとても食べられる代物ではないが、編集士に請われるままやりくり算段の私の傑作？ お目々が汚れませぬように！

収入役 内田 秀憲

11月

おもな内容

- 改正された道路交通法の要点……………(2)
- 中核林業地域育成特別対策事業……………(3)
- 同和教育先進地研修から……………(4)
- 民芸品作りに励む飯屋さん……………(5)
- 住宅団地で施設診断 (防犯運動) ……(6)
- みんなの広場・解放の力……………(9)

12月3日	11月26日	11月19日	11月12日
高森 平田 医院	南阿 後藤 医院	南阿 藤本 医院	高森 本田 医院
②0216	⑦0019	⑦0020	②0016


 診療は午前9時から午後5時まで

町民文化

俳句

赤く燃えもえて群れ咲く曼珠沙華
 秋空を黄金に焦し明日は晴
 栗の実を帽子に拾う散歩道
 なつかしき人の顔あり秋祭
 遅夕餉冷茶をすするちちろ鳴く
 鬼灯も熟れるにまかせ暮れてゆく
 柿の実の色づきそめし秋深む
 夕霧(ぎり)にお寺の鐘が流れをり
 雲は秋母に蹤(つ)く子の足早に
 今は亡き父母の墓前に菊捧ぐ
 勉強のラヂオテキスト朝寒し
 山のバス吾れ一人乗せ秋桜
 栗の実の沈みて一つ背戸の川
 気の重き世話ごとかかえ秋日傘
 暮れなづむ陵線淡く秋の色
 秋雨に地図をたよりの木曾路行く
 帰り来し暮色の庭やつわの花
 朝散歩銀杏栗の実拾い来し
 あと先に子等たわむれて花野道
 障子貼る心せかるることありて

肥後狂句

ゆるっと 羽根延ばし度ア休診日
 祭りダゴ ブタ箱で食う親不孝
 肌寒さ 紅葉写して落つる滝
 祭りダゴ 腹ほじくってう捨てとる
 踊らされ あんたの馬鹿にゃ呆れとる
 ゆるっと 景気対策見とる株



阿部 タツエ 正六
 森 正六
 後藤 やよい 幸一
 瀬井 幸一
 後藤 幸一
 後藤 幸一
 本田 訓子
 白石 昭利
 馬原 岳人
 白石 節子
 松岡のぶ子
 内田 文子
 弥永 露子
 桐原 寿
 林 久恵
 柴田 久子
 古庄 泰子
 平田 泰子
 岩下 扶美
 山村 ふみ子
 浦塚 南天
 岡本 琴司
 林 不志

おめでた おくやみ

出生	S53.9.16~10.15受付	
(住所)	(保護者)	(出生児)(性別)(生年月日)
昭和	山田 忠司	康代 女 S53.9.6
"	岩本 孝雄	香代 女 53.9.14
横町	岩本 隆	浩 男 53.9.19
天神	甲斐きよ子	裕一 男 53.9.29
矢津田	二子石一人	一美 女 53.9.12
草部	佐藤 民治	弓子 女 53.9.21
尾下	首藤 國男	ともみ 女 53.9.8
津留	野尻 昭生	浩太郎 男 53.9.17

▽色見西丁の宇藤幸弘さんから (母、静子さん・67歳死去)
 △以上、町社協分▽

▽高森上在の前田葉子さんから (香典返しとして高森寮へ)
 △尾下片山の野尻カナメさんから (香典返しとして尾下老人クラブ「はまとこ会」へ)
 △上色見洗川の後藤為敏さんと中原の佐伯憲敏さんから (香典返しとして根子岳老人会へ)

踊らされ 企業のピエロだった僕
 肌寒さ 庭の蘇鉄も冬仕度
 祭りダゴ 東京弁がはめよらず
 踊らされ 宴会だけの人気者ン
 ゆるっと のれん下ろして呑む女将
 何んでんかんでん 昔と比較する親父
 ゆるっと 高森線の走りよる
 何んでんかんでん 御神酒飲む如つ出来た娑婆

林田 一声
 馬原 馬笑
 田上 黙公子
 本田 紫郷

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
西丁	宇藤 幸弘	母	宇藤 静子	67	S53.9.26
上在	前田 葉子	父	丹羽 好文	64	53.9.26
上町	藤野 セツ	夫	藤野 勝	86	53.10.3
野尻	瀬井 維芳	4男	瀬井 充	18	53.9.20

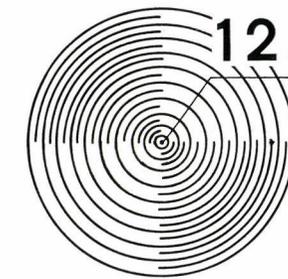
▼農家の軒先に、赤い熟した柿が目立つこのごろ、秋もいよいよ深まったことを告げているようです。この十一月は農家にとって忙しい収穫の時期でもあります。トラクター、コンバインはじめ、パインダー、刈払機、カッター、脱穀機など農業機械の取り扱いには十分な注意を払い、事故を起さないようにしたいものです。

▼十月号は「高森の歴史散歩」の中見出しは「一、二校正ミスがありました」ことを深くお詫びします。広報紙に対するご希望やご意見をお寄せいただければ幸いです。

編集後記

12月1日から施行

新道路交通法の要点



道路交通法が七年ぶりに大幅改正され、十二月一日から施行されます。今回の改正は二・三人に一人が運転免許を持つ「国民皆免許時代」を迎えて、クルマ社会の新しい秩序づくりをめざすものです。そこで「新道路交通法」の要点をかいつまんで紹介してみることになりました。

「酒酔い」は免許取消し

行政処分の対象も拡大

▼身体障害者の通行保護
車いすに乗ったり、盲導犬をつ

れた目の不自由な人が通行しているときは、白色や黄色の杖を持つた人の場合と同様、車の運転者は停止・除行して、通行を保護しなくてはなりません。

なお盲導犬は白色か黄色の胴輪をつけています。

▼自転車の交通方法の特例と保護
自転車の定義と自転車横断帯の定義が定められ、どこでも通れるというわけにはいかなくなりまし

た。自転車の道は「自転車専用」「自転車および歩行者専用」の標識のある道路、標識のない

車の運転は正しい交通規則で



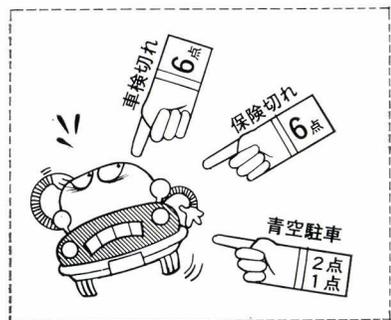
な。お盲導犬は白色か黄色の胴輪をつけています。

いところは車道寄りを通らなくてはなりません。
また、歩道を通る時は徐行し、歩行者の妨げになる場合は一時停止しなければなりません。「交差点進入禁止」の標識のあるところでは、左側の歩道を通るとき、道路を横断するさいは「自転車横断帯」を通るようにすること。信号は車の信号に従いますが「歩行者自転車専用」の表示板のあるところではそれに従うことなど、自転車に乗る際のルールが細かく決められています。それとともに自転車利用者保護に対する車の運転者の規則も厳しくなっています。

▼二輪車のヘルメット着用義務の強化
①自動二輪車(50ccを起えるもの)を運転する際は、安全なヘルメットをかぶること。同乗者もかぶること②原動機付き自転車(50cc以下)を運転する場合も努めてヘルメットをかぶることとなっ

ています。

その他▼暴走族の集団暴走行為の禁止▼高速道路での特別規定▼安全運転管理の強化―など。行政処分(点数)制度も一部が変更になりました。そのなかで車検切れを六点、保険切れ六点、青空駐車(車庫代わり路上駐車二点、長時間駐車一点)と、道路交通法以外

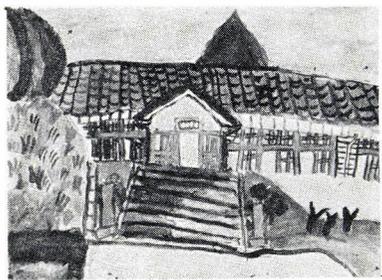


の違反にも点数がつき、行政処分を受けることとなります。
とくに、麻薬や覚せい剤を飲んだの運転と、酒酔い運転は厳罰で一度の違反で免許は取り消されま

「麻薬や覚せい剤運転には、これまで過労運転並みの比較的軽い処分(違反点六)でした。しかし、事故ににつながる危険性が強いので、麻薬、覚せい剤の常用による中毒症を防ぐ意味も含めての厳罰(十五点)です。」

酒酔い運転は従来、十二点でしたが、この改正で十五点に引き上げられました。麻薬・覚せい剤運転と並んでの「最高点」です。ともあれ、悲惨な交通事故を起こさないために、日ごろから心身をそう快にしておくとともに、ルールをよく守っていきたいものです。

みんなの広場



「校舎」 草部南部小4年 後藤美和子

郷土愛で明るい社会を

河原 白石 昭利 (51)

都会へ都会へと若者たちが憧れの心を持つ今日このごろですが、幸いにして、私の部落は大部分の若者が農業後継者として残り、毎日活気に満ちた農業経営を行っております。

二十数年前までは車の通行も不可能な小部落でしたが、最近になって道路や集会所が整備され、また国の高原開発も施工され大きな変ほうを遂げています。このことは町はもとより関係者の絶大なご支援とご尽力によるものと心から感謝しております。

このようにして農村が繁栄し、所得が倍増すれば商店街での購買力も増大し、ひいては本町の発展

にもつながると思います。ところで、戦後の社会では道徳心の欠如とか、親子の断絶という言葉を耳にしますが、人間相互の調和、心と心のふれ合い、親切な思いやりをもっともつと養い、立派な家庭生活、明るい社会を実現したいものです。

仏の教えから

一水四見

津留 馬原 範三

仏の教えの中に「一水四見」という言葉があります。平凡な人間である私たちがら見ている水が、天人が見れば瑠璃(るり)に見え、餓鬼から見れば火に見え、また同じ水が、その見方によって、また境界によってこのように違って見えるというわけです。

一匹の蚊が人間の体を刺そうとしています。じっと見ていると、憎らしく見えますが、蚊には大きな食物と見え、人間から見れば、ちっぽけな哀れな蚊に過ぎません。

人間は生物の中では最高かも知れませんが、迷いの世界にもがいている点では同じではないでしょうか。
「白い色には白い光あり」平凡な私たち人間、すなおに白い色に白い光を見ることができません。いつでも我執の色めがねを通して、物を見、考えるからではないでしょうか。

総合青年祭のお礼

このたびの第二十回熊本県総合青年祭の大会資料作成に際しましては、町内各商店、団体など多数のスポンサーからご協力、ご援助

を賜わりありがとうございました。今後とも、青年団活動にご支援いただきますようよろしくお願いいたします。
▲高森町青年団▼

解放の力

前号で本町における同和問題の課題を提起したが、地区を校区に持つ学校の子供会の現状について考察してみたい。

現在中断している子供会は、四、五年前に混住という形で始められたという。共に仲良く学習させる取り組みは、発足当時としては画期的なものであったに違いない。そして、今日の行きづまりを予想だにできなかったであろう。

課題への考察

高森町同和推進教員の会

地区外の方が言われる「自分たちは差別していない」「子供には親が教える」と。なるほど、個人が直接差別を受けることはほとんど無くなったであろう。しかし、部落差別の深刻さは、地域全体が差別を受けることである。

地区の子供の声は、何を物語っているのだろうか。ある他の部落の子供が、「どうしてあの部落だけ学習会があるのですか」と質問したのに対し、先生たちはきちんと説明できなかつたと聞く。昨年あたりから、学習会に来る子どもまばらになった。しかも



山林を大きな財産に

地域振興事業 中核林業育成

山林地域の林業振興を図るため町ではいま「中核林業振興地域育成特別対策事業」というのをすすめています。

これは将来、林業が中核的役割を担うと見られる地域を国が指定して、林業に關した諸施策を総合的にすすめるもので、特に小面積の所有者や二十年生以下の山林に優遇措置が講ぜられます。

本町は波野村、蘇陽町とともにこの制度事業の地域指定を受けることとしており、本年度から二カ年計画で実施に移します。この制

造林、下刈り補助など 山林所有者に優遇措置

山林所有者に優遇措置

度事業で山林所有者は次のような優遇措置が受けられます。

- ①造林補助率が引き上げられる。
 - ②十年生以下の森林は下刈り補助がある。
 - ③六～二十年生までの森林は、保育間伐の補助がある。
 - ④二十一年生以上の森林の主伐、間伐については、税金に特別控除が適用される。
 - ⑤公庫資金などの融資は優先採択される。
- ところで、このような優遇措置を受けるには、まず団地共同森林

菅山の本木さんら

国民健康保険 健康家庭64世帯を表彰

町はこのほど五十三年度の国民健康保険の優良家庭六十四世帯を表彰しました。

五十二年四月一日以前から本町の国民健康保険に加入しており、過去一年以上医療給付を受けず、



後藤メイさん



松本さん



後藤メイさん

町はこのほど五十三年度の国民健康保険の優良家庭六十四世帯を表彰しました。五十二年四月一日以前から本町の国民健康保険に加入しており、過去一年以上医療給付を受けず、

市知事とせ、市知事とせ

中小企業の退職金 共済制度に加入を

すっかりした退職金制度を持つことがむづかしい中小企業に国がバックアップして大企業と同じような退職金を支払うことができるようにしようというので生じたのが「中小企業退職金共済制度」です。

この制度に加入できるのは①従業員五十人以下の小売、サービス業②千人以下の卸売業③三百人以下の製造業などその他の業種

熊本博物館で 県発明工夫展

十一月十五日から二十二日までの八日間、熊本城内熊本博物館で第十三回熊本県発明工夫展が開催されます。入場料は無料。

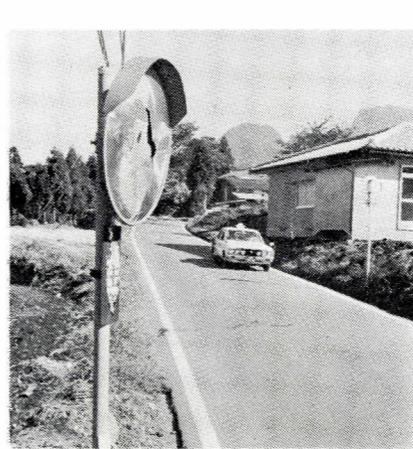
募集した発明工夫にテーマを置いた作品で、各地域の予備審査を経て、優秀な作品約五十点が展示される予定です。また同時に五十三年度熊本県科学研究所展も開催され、一緒にご覧いただけるようになっていきます。

例年の発明工夫展には、非常に真面目な研究作品や、奇抜なアイデアにあふれた作品が多数出品されますので、ぜひご観覧をおすすめします。

13日に阿蘇町で 税の巡回相談室

税金について困っていることや分からないことはありませんか。そんなときは税務相談室をご利用ください。

熊本国税局税務相談室では「税の巡回相談室」を次のとおり開設します。日ごろ税金のことで分からないこと、知りたいことなどお気軽にご利用ください。



町内を走る国、県道と町道のカーブミラーが、ときどき割られているのを見かけます。舗装された道路が大半で、車が石をはねて割ったとは考えられません。

子供の成長願う 写真と標語募集

全国社会福祉協議会と朝日生命厚生事業団では、来年度の国際児童年を記念して、児童福祉に対する理解と関心を深めるため、次の要領で「写真と標語コンクール」を行っています。

カーブミラー大切に
町内は曲がりくねった道路が多いため、カーブミラーなしでは危険がいっぱいです。交通安全施設は、地区の財産と思って大切にしたいものです。

54年度の職業 訓練生を募集

労働市場のきびしい雇用状況の中で、技能を身につけて安定を図ろうと熊本総合高等職業訓練校では、五十四年四月入校の生徒を次の要領で募集しています。

相談日

- 十一月十三日(月)
- 十二月十三日(水)
- 時間 十時から午後四時
- 場所 阿蘇町商工会々議室

作品のサイズはカラープリントで六つ切り版。

賞 一席一点厚生大臣賞および副賞三十万円、二席三点主催者賞および副賞十五万円、三席十席主催者賞および副賞五万円、佳作三十点記念品

詳しくは町民課第二福祉係へ。

「二年訓練」二十五歳以下の高等学校卒業生。機械科二十人。

「応募方法」来春卒業見込みの人は学校経由で、その他の人は直接、同校または公共職業安定所へ入校願いを提出してください。

「募集期間」二年訓練、五十四年一月八日から二月二十日、一年訓練、五十四年一月八日から三月二十四日。

「試験科目」国語、数学(二年訓練のみ)

「特典」①訓練生には技能者育成資金(月額約六千五百円)の貸付制度があります。②学割の適用、寄宿舎もあります。

高森町同和教育推進協議会は、去る九月七日から八日にかけて、同和教育の先進地である福岡市の吉野町小、吉野町中および地区集会所を訪れ、同和教育の取組み状況など交歓研修を行いました。現地では参加者四十六人を二班に分け、第一日目をA班は吉野町小と戸切集会所、B班は吉野町中と城の原集会所でそれぞれ研修。二日目は福岡市の同和教育行政を全員で学び、このあと総括反省を行って研修を終わりました。そこで、その総括反省の概略をお伝えしましょう。

同(和)教育(先)進(地)研(修)か(ら)

変容しては逆効果さえ招く結果になります。学校教育としての取り組みも極めて積極的で、人間平等、人権尊重の立場から、地域の実態に応じた教育計画が立てられ、「差別を見抜き、差別を許さない」子供をどのように育てるかという研究が進められています。この学校では、どの先生方も異音同音に真摯な態度で取り組んでおられ、全く敬服させられました。

◇：都市化の波及で新興団地が点在する中、新設校として四年目を迎えた吉野町小ですが、部落解放運動への歴史は長く、大正十一年の水平社結成当時から戦後にかけて、部落差別解消への努力が続けられています。部落解放運動が結成された直接の動機は、婦人会の識字学習に端を発し、解放子供会の誕生を見たことです。この校区には二つの同和地区があります。「部落宣言」をしたとき、約百人の同和地区の子供たちは動揺したものの、教育の力で今日まで支えてきました。そのためには、もちろん家庭、学校、社会教育面と行政が一体となって協力しなければ、その成果をおさめることは難しいとされます。

つまり、かりに一方的に「部落宣言」したとしても、回りの人がく結果になりません。学校教育としての取り組みも極めて積極的で、人間平等、人権尊重の立場から、地域の実態に応じた教育計画が立てられ、「差別を見抜き、差別を許さない」子供をどのように育てるかという研究が進められています。この学校では、どの先生方も異音同音に真摯な態度で取り組んでおられ、全く敬服させられました。

現実には学ぶ観点での研修が終了あと、夕食をすませて「戸切教育集会所」を訪れました。ここでは地区支部長さんの実に明るく暖かい歓迎を受け、中学三年生の学習会の様子や、解放運動の一貫として行われている婦人学級の活動状況をつぶさに見せてもらいました。ちょうど民謡教室があつていましたが、なんのわだかまりもありません。

らもなく昼間の疲れも忘れたかのようには踊っておられる姿は、特に印象的でした。ここには二人の職員が配置され、小学生はもちろん中高生や婦人会など成長層にいたるまでの幅広い活動が行われている。



このことを生徒たちが自分自身の問題として、生徒会を通じて深く掘り下げて行きました。そのとき、教師のときどきも激しかったようですが、同和問題についての学習が歴史的なものとして進む、直接的、具体的事実として進められていきました。この背景として父母の同和教育についての正しい認識と解放への息吹が生きてきと躍動し、生徒の中にも自然と顕現学習が身についていったものと思われれます。

解放の息吹と生き生き

◇：吉野中学校の部落問題へ

この報告を聞いて、はたして生徒の手で正しく取り組みが行われたのか多少疑問に思いましたが、夜の城の原集会所での交流会で解放運動が明るく、着実に実践されていることを感じました。

吉野中と城の原集会所

が、地域が行政が、どうかかわりあいて、どう変わって行くかにかかっています。町民全員が同和教育の原点にかえり、もう一度真剣に考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

部落解放の原動力は母親であり、さらに部落民ひとりひとりに輪を広げ、部落全員が強い意志と信頼によって立ち上がることです。それに隣の人、教師

高森の歴史散歩

教育長 今村としお

史蹟めぐり

肥後国誌によりますと、上色見は別にして、色見村は高四百四十石余とあり、当時高森村と同じ石高であったことがわかります。由緒ある土地柄だけに、地名も戸狩、井上、山鳥、中園、西丁とおくゆかし、熊野神社を中心に集落が散在しています。

山鳥から登山道を進むと古神の森があり、人々はここを「たっちゅう」と呼んでいます。昔はここを馬に乗って通れば落馬して死ぬと伝えられ、阿蘇姫君の古蹟でお茶屋跡もあったと伝えられています。「たっちゅう」は「館柱」か「

阿蘇文書に見る色見、山鳥 (その2)

立柱「館女」か判明しませんが、塔頭(たっちゅう)は禪宗等で祖師や高僧が死んだ後、弟子が徳をした塔の頭に備えた丸い坊主様の房舎のことをいい、一般には由緒ある古い墓地を指します。南郷には下田にもあります。いづれにしても古神の森には阿蘇姫君のあわれな伝説があり、聖域として恐れ近よらなかつたところと思われ

行儀松を過ぎますと、丸山城址の下に出ます。丸山は弓張月の小説で有名な鎮西八郎為朝が居城したと伝えられ、記録によれば文政十四年三月大きな釜や土器などが掘り出されたところ、付近に陣屋、やかた河の地名があります。熊野神社の祭神は伊弉諾、伊弉册命と石君大將軍(阿蘇大明神)で色見村の総産土神。清水湧き出で神石も幽邃の中に静まっております。後方に飯喰い祭りで知られた愛宕の観現社があり、昔はこの付近に光西寺、阿蘇姫君の墓があつたと伝えられますが定かでは

ありません。井上には観音堂、西丁には地藏堂、中園、戸狩には天満宮、住吉明神社があります。住吉社は住吉一族の守護神で家紋は三階松、謡曲「高砂」の阿蘇大宮司と大阪の住吉神社、それに尾上の松との結びつきを考えます。何か因縁がありそうです。戸狩の六地蔵は石幢形式で文明年間の建立。室町時代に民間信仰が旺盛であつたことがしのげられます。

昭和四十六年に復旧されました。竹田往還に通じることから、大分の国東(くにさき)塔と関連があるようですが、形式が異なっております。阿蘇三十三カ所巡りの十八番札所の安楽寺跡の観音堂はすぐ近く、巨大な礎石が残り、広大な寺院であつたことが想像されます。仏像は十一面観音、御詠歌に「しきみ花、御代のほとりに奉る、た

むくる人は心安楽」と。堂の横に天文二年の石碑があり、梵字で中央に釈迦如来、右に彌勒(みろく)、菩薩、左に普賢菩薩がかかれ、禪正門〇〇と記されています。これは開基僧の建立と思われ、今から四百四十五年の昔、色見、山鳥地方が神社や寺院を中心として繁栄していたことがしのげられます。

郷土の博物誌

私もまた紅いと書いて「吾亦紅」(われもこう)と呼ばれているこの花の名はすてきである。早春の庭や畑の隅で青い瞳をパツチリと開くあの可愛い花に、オオイスノフグリなどと不粋な名をつけられているのに比べたら何倍も幸せだと思ふ。しかし、この花は、「紅」という派手な色を名前としてはもらたけれど、どちらかといえはむしろエンヂに近いすんだ地味な紅で、そのうえ、深みゆく秋の哀愁感をたたえた淋しさが身にしみる花である。

ワレモコウ



私はこの花を竹で編んだ籠に一輪さしに活けた風情が好き

この写真のように地味な花でびっくりするほど太って、こんなにたくさん花をつけたものさえ、ちっとも賑やかさや華や

で、よくこの頃に摘み草とするが、やはり秋の心を伝えるさびさびとした抒情詩的雰囲気がロマンチストの心と相呼ぶものがあるからだろうか。かきを感じさせないのを見てもよくそれが解る。ところで、この花は花というイメージよりむしろ赤い実のように見える。しかし、手にとるとよく見ると、小さな花の塊であることが解る。しかし、この花には花びらはなく、赤い色はがくの形で一つの花を開くと、四枚のがく片とその間を交差している四本の雄しべがある。だが、そんなことより私が不思議に思うのは、この花は分類学上バラ科に属していることである。あの香り高い華麗なバラの花と同じ仲間とはどうしても見えない。

吾亦紅すきかるかや秋草のさびしき極み君に送らん (若山牧水) 町文化財保護委員 佐藤 武之

南船北馬



出版された「南船北馬」

上色見の佐伯一馬さん(九〇)の長男で故人の家徳さんが軍隊入隊から戦病死するまでを書きつづけた「南船北馬・従軍の思い出」が、このほど戦友らの手で、りっぱな冊子として出版されました。

家徳さんは支那事変の現役兵として、昭和十四年に歩兵十三連隊に入隊。翌年には下士官候補として、熊本陸軍教導学校に入校した後、中国大陸を転戦、しかし十九年九月に南方戦線で負傷、内地送還となりましたが、翌二十年には病院も戦災にあい、自宅療養中に死去されました。教導学校同期の生存者らが、終

戦三十三回忌を迎え、家徳さんの墓参りに訪れた際、家族からありし日の記録を見せられ、このまま仏壇にうもれてしまおうのは惜しいと、これを活字にする話が進みました。冊子には、軍国時代のたくましい文章で、入隊前後の状況から前線での暮らし、密林戦、戦友愛などが克明に記されています。

家徳さんの妹、ミズホさん(四〇)は「他人のことなど構っておれないという時世の中で、このようなうらわしい思いやりをいただき、兄も草葉のかげで喜んでいてことでしょう。老父も感涙にむせんでおりました」と、戦友の好意に心から感謝しておられました。

故佐伯さんの手記

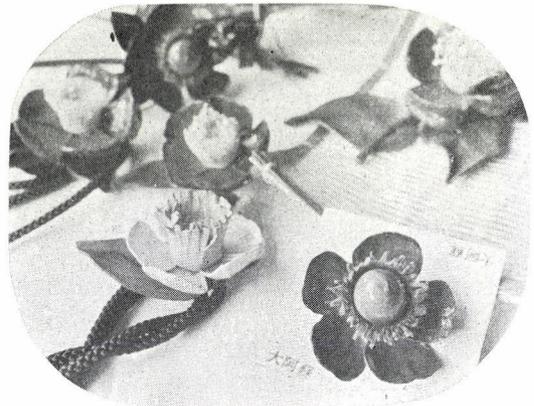
「従軍の思い出」戦友が出版

○：高森横町の飯星知佐さん(五三)は、郷土の産物を生かして民芸品づくりに打ち込んでいます。作品は栗のうばとドンダグリの実、黒大豆などを材料にしたブローチやペンダント、壁飾りなど四〇五種類あり、県の特産品にも選ばれ好評です。

○：材料の栗のうばとドンダグりは、比較的簡単に手に入ることから注文に応じた増産もOK。ただ問題なのは個人ベースで作っているためPRや販売ルートといった営業面がきわめて弱いこと。この課題さえ克服すれば、全国的に珍らしい民芸品だけに、観光客の間でも需要は高まりそうです。

ブローチやペンダント 民芸品作りに励む

高森横町の飯星さん



○：飯星さんが郷土の民芸品づくりを本格的に始めたのは一昨年。町文化祭のお土産コンクールで婦人会を通して応募依頼があり、そのときに自然の素材を生かしたブローチを思いついたということ。関係者の間でも「素材がユニーク」と好評なため、飯星さんは商品化に踏み切り、休暇村の売店や県物産館にも出陳、今年からは県特産品としてもデビューしました。

○：材料の栗のうばとドンダグりは、比較的簡単に手に入ることから注文に応じた増産もOK。ただ問題なのは個人ベースで作っているためPRや販売ルートといった営業面がきわめて弱いこと。この課題さえ克服すれば、全国的に珍らしい民芸品だけに、観光客の間でも需要は高まりそうです。

高森警察署長として赴任された

東大森英雄さん

十月九日、秋の定期異動で岩下安男署長の後任として着任されました。署長就任は高森が初めて。

融和団結をモットーに、犯罪や交通事故のない、明るい町づくりをめざしたい。



かけてくれます。ここは都会にないよさを感じます」と町の印象も語っておられました。昭和四年、熊本市本山町の生まれ。昭和二十四年に警察官を拝命、牛深署を振り出しに各署を回ったあと、四十一年から四十九年まで玉名、山鹿、八代、北署で交通課長、その後は、県警本部交通企画課長補佐、同交通規制課次席、山鹿署次長、北署交通官を歴

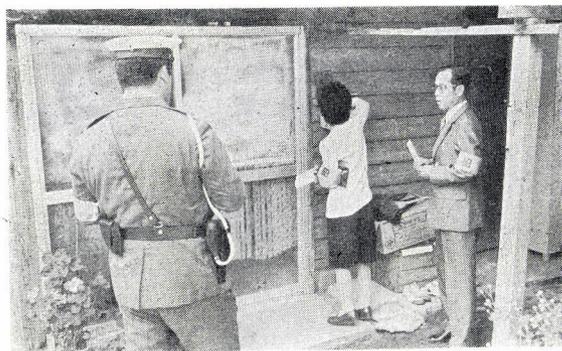
任。大半を交通畑で過ごされた交通関係の大ベテランです。

趣味は盆栽と海づり。家族は敬子夫人(四五)と、すでに就職された娘さん二人。自宅は熊本市健軍四丁目一六一―一三。

あき巢にご用心!

秋の全国防犯運動

住宅団地で施錠診断



戸締りの状態を知らべる署員ら

ていた家庭はわずかで、出入口の戸を空けたまま留守にしていたところもありました。また一つのドアに二つの錠で戸締まりをする「ワンドアツローロック」方式や防犯ベルを取り入れた家庭は見当たらず、あきすねらいに対するあ

まさが目立ちました。署員らは留守の家には防犯状態をチェックした診断カードを置き、家人がいるところではパンフレットを配るなどして侵入盗の防止を指導していました。

交通ルールを守ろう

草部地区 鼓笛隊先頭にパレード

草部地区でこのほど、交通事故をなくす秋の運動が行われ、草部南部小学校の鼓笛隊を先頭に、小学生、町議員、婦人会、交通安全協会会員ら約二百人が草部南部小「社会間をパレード、「ドライバ―も歩行者も交通ルールを守ろう」と呼びかけました。

阿蘇南部交通安全協会の草部支部が主催したもので、毎年、各種団体からいづれも代表が出席して大きな関心をしめし、盛り上りを見せています。

秋の防犯運動が十月十一日から十日間、全国一斉に行われましたが、高森警察署では今年も防犯連絡員や婦人会らといっしょに、旭通りと中川原団地の住宅街を回り、各家庭の出入口や窓の施錠の状態など防犯診断をしました。回った家の大半は玄関、窓とも錠がかけられるようになっていたものの、実際に錠をかけて外出し

いま実施されている国民年金の特例納付制度をご存知ですか。

この制度は国民年金の保険料を長いこと滞納していたとか、国民年金に加入しなければなら



ないのに、その手続きをしていなかったなどの理由で、将来、老齢年金を受けることができない

特例納付制度の活用を

納める保険料の額は、過去の未納期間一カ月につき四千円。取扱期間は、昭和五十三年七月

一日から五十五年六月三十日まで二年間に限られています。なお、明治四十四年四月一日以前に生まれた人や、サラリーマンの奥さんなど任意加入の人は、特例納付をすることができません。心あたりの方は町民課国民年金係へお問い合わせください。



草部地区の安全パレード

野尻駐在所にパトカー配備

高森警察署

このほど高森警察署に新しいミニパトカー一台が届き、大分、宮崎両県と隣接する野尻駐在所に配備されました。

ミニパトカーは五三年型ホンダ



シビックで、総排気量は一三〇〇CC。サイレンのほか回転灯、スピーカー、飲酒運転検知器などを積載しています。野尻駐在所には菊川猛巡查長(三)が乗車して、城内の警らに当たりますが、草部駐在所の浜田康夫巡查長(三)とも協力して草部地区の防犯活動や交通取締りなどにも使われる予定です。

この結果、高森署管内には四台のパトカーがそろったことになり地域ごとの重点パトロールが可能となりました。